

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どれみあーと倶楽部タッチ臼井校		
○保護者評価実施期間	令和7年3月26日		～ 令和7年4月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年3月26日		～ 令和7年4月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間、療育現場では構造化をはかっている。特性に応じて情報伝達等、適切な配慮がなされている。	安心して過ごすことができるように、わかりやすい支援を施している。	必要に応じて今後も続けたり、頃合いを見てなくしていったりする。
2	スーパーバイザーとして、専門家の大学職員言語聴覚士を招き、個別に子どもたちを指導してもらっている。	保護者の要望は強く、指導内容を必ず家庭へ報告し共有している。	家庭でのフィードバックをこれからは丁寧に行ってもらいそこからまた積み重ねていきたい。
3	児童発達支援計画を作成する際には、児発管だけでなく職員全員で話し合う時間を設けている。こどもの支援を職員が共通理解をしている。	集団での取り組みの中、一人ひとりに合わせた場面も考えている。たえずよい取り組みができるようにし、うまくいかない場合はすぐに細かく変更をしている。	質の高い療育とは何であるかを今後も話題にしていしく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の横のつながり、交流。	保護者の悩みを共有できる保護者同士のつながりが必要に感じている。	今後、保護者会などの計画を行っていくことができればと考えている。
2			
3			